

小田原市(神奈川県)

旧今市市と姉妹都市(昭和55年12月19日に締結)。平成18年10月20日、新「日光市」として新たに姉妹都市の盟約を締結。

◆旧今市市とのゆかり◆

二宮尊徳翁の生誕の地(小田原市)と終えんの地(旧今市市)であり、互いに国際観光地の表玄関としての地理的役割を果たすなどしてきました。

◆小田原市の紹介◆

恵まれた自然環境と温暖な気候を背景として、小田原城を中心に商業・文化ともに栄えてきました。宿場町だった小田原市では、旅人が豊んで持ち歩ける「小田原ちようちん」が江戸時代から作られています。小田原ちようちんは、童謡「おさるのかごや」にも登場しており、全国的にも有名です。毎年7月には、ちようちんにちなんだ「小田原ちようちん夏まつり」が開催されます。

人口 198,959人
世帯数 75,660世帯
面積 114.06km²

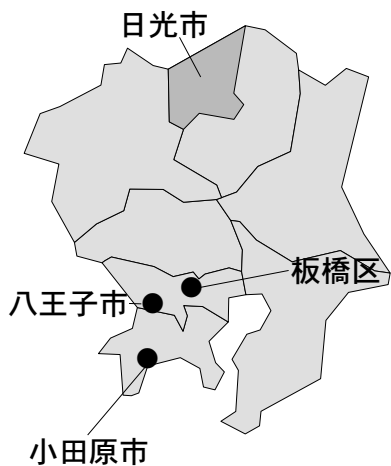


小田原城

姉妹都市・交流都市の位置



小牧市



日光市

板橋区

八王子市

小田原市

板橋区(東京都)

旧栗山村と交流協定(昭和58年6月7日締結)。平成18年11月2日、新「日光市」として新たに「みどり」と文化の交流」協定を締結。

◆旧栗山村とのゆかり◆

ともに緑を愛し、文化を大切にすることをもち交流を深めてきました。

◆板橋区の紹介◆

江戸時代、中山道の第一番目の宿場が置かれたのが板橋です。その後、江戸の玄関口として繁栄してきました。板橋区では3月に「東京・荒川市民マラソン」が行われており、毎年、約1万5千人が参加しています。また、夏に荒川で行われる「いた



石神井川に架かる板橋

ばし花火大会」では、大ナイアガラの滝や100発以上の尺玉、ワイドスターマインが打ち上げられます。

人口 526,687人
世帯数 265,136世帯
面積 32.17km²